

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和08年06月18日(木)

事務事業		非核平和推進事業		担当課	秘書課	担当係	広報係	管理番号	1221	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等						
	小項目	4	行財政運営の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		世界平和を願うすべての国の人々と手を携えることを誓い、平成18年9月28日に「非核平和都市」を宣言。								
目的 ※何のために		市民に対して、平和の尊さと戦争の悲惨さを後世まで伝えるため								
対象 ※誰・何を対象に		市民のかた								
手段 ※どのように		非核平和を訴える懸垂幕の掲出や、非核平和イベントの開催などを行う。また、過去の映画会で上映した作品のDVDを購入し図書館で貸し出しをするなどしていく								
成果 ※何を求めるか		市民の非核平和への関心が高まる。								
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額(円)			
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	2	広報広聴費	非核平和推進事業	154,784
本事業の 主な業務		・ 非核平和推進団体の支援					・			
		・ 非核平和イベントの開催					・			
		・ 関連DVDの貸し出し					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

※令和7年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	162,000	168,000	168,000	186,000	191,000	
	決算額	149,964	161,316	165,179	154,784	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	149,964	161,316	165,179	154,784	191,000
人件費	従事職員数(人)	0.26	0.26	0.26	0.26	0.31	
	人件費相当試算※	2,046,085	2,082,643	2,137,783	2,204,045	2,730,632	
	総事業費試算	2,196,049	2,243,959	2,302,962	2,358,829	2,921,632	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	イベント開催回数	目標値	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		実績値	1.00	1.00	1.00	1.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年1回のイベントを維持することを、各年の目標値として設定している / 実施回数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	イベント参加者数	目標値	人	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
		実績値	1,819.00	2,643.00	2,595.00	3,250.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			市民ギャラリーの類似イベント人数などから算定 / 受付簿・整理券などによる実数						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和7年度のパネル展では、例年展示する広島・長崎の原爆のパネルに加えて、新1万円札の顔となった郷土の偉人、渋沢栄一翁の「青い目の人形」事業と人形にこめられた平和への願いに関する展示を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	集客力のあるショッピングセンターを会場にしたことと、なじみの深い渋沢栄一翁関連の展示を行ったことで来場者が令和6年度よりも増加した。今後も平和の尊さや戦争の悲惨さについて触れてもらえるよう展示を工夫していきたい。
			評価者 広報係長 飯塚 大悟

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	限られたコストで、多くのかたに非核平和に関する情報に触れていただけるよう今回のようなパネル展を続けたことで、平和の尊さや戦争の悲惨さを考えるきっかけを作れた。
			評価者 広報係長 飯塚 大悟